【担当課：総務局人事部人事課】

|  |  |
| --- | --- |
| 議　　　題 | 令和６年度の人事評価結果等について |
| 日　　　時 | 令和７年７月３日（木）10時00分～12時00分 |
| 場　　　所 | 市役所４階　総務局内会議室 |
| 出　席　者 | （特別顧問・特別参与）　山中特別顧問  （職員等）総務局人事部　人事課長  人事課長代理  人事課担当係長 |
| 論　　　点 | ・令和６年度人事評価結果の報告について  ・分限制度に係る適正化指導等の状況及び分限処分（分限休職）について  ・外部人材の活用状況について  ・管理職育成アセスメント研修の結果を踏まえた人材育成の  課題への対応について  ・国際人材の育成について |
| 主な意見 | ・人事考課において寛大化傾向にならないよう、絶対評価点において改めて厳格な運用を心掛けてほしい。  ・自所属の前年度の標準偏差について、各所属に個別でアナウンスするだけではなく、人事評価研修の場においても周知してほしい。  ・病気休職を繰り返す職員に対する対応策について、他都市状況も調査しながら、検討していってほしい。  ・課長昇任までの人材育成として、研修受講や前例のないプロジェクトの経験、民間企業への出向など、成長できるような機会を与えるべきである。  ・万博後の大阪市の発展を見据えて、国際人材の育成（国際職などの採用枠の創設）を本格的に検討していってほしい。 |
| 結　　　論 | ・いただいたご意見も参考にしながら、人事考課制度の運用状況を注視していくとともに、あらゆる機会を通じて制度の適正化に向けた周知を行っていく。  ・また、国際人材の育成に向けた取組についても検討していく。 |
| 資　　　料 |  |
| 関係所属 | 総務局 |